

福島大学大学院 人間発達文化研究科地域文化創造専攻 岩間真弓

『青銅器製作実践プロジェクト―四凶放竄の神話を通して―』

古代の遺物から歴史や漢字文化を体験する

『青銅器を作ろう』



劉鼎：上海博物館蔵

指導・監修 福島大学人間発達文化学類・同大学院教授

澁澤 尚

日程：令和2年 第1回目 10月25日(日)
第2回目 11月15日(日)
第3回目 12月06日(日)

※いずれも同一内容ですので、御都合の良い1日を選択してください。

時間：集合9時40分 講義 10時～ 型作り 11時～ 昼休み 12時～ 鑄造 13～16時

場所：福島市中央学習センター 福島市松木町 1-7 tel: 024-534-6631

内容：中国古代青銅器・漢字についての講義、錫製品(文鎮)実作、青銅器(文鎮)外注

講師：福島大学大学院人間発達文化研究科 2年 岩間真弓

会費：実費 6,400円(青銅器、錫製品、材料費、資料代) ※当日支払い

定員：実作 定員16名 見学 10名(見学は無料)

持物：エプロン、筆記用具、飲み物、昼食各自、 ※マスク着用

主催：福島大学大学院人間発達文化研究科漢文学研究室
福島日中文化交流会(会長：岩間真弓)

協力：あらい工房 荒井幹雄 山形県上山市金谷字下河原1386 tel:023-672-3319

後援：福島市・福島県教育委員会・福島市教育委員会

公益財団法人 福島県国際交流協会・福島市国際交流協会

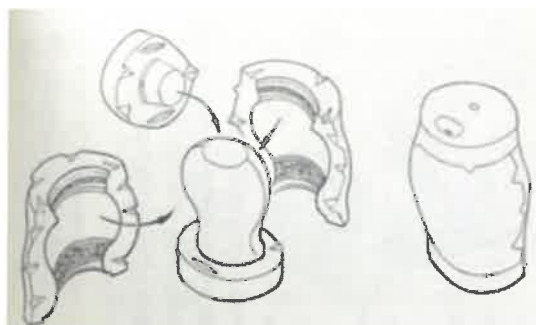
申込：ワークショップ実施の1週間前までに下記の電話かメールで申込 ※定員になり次第締切
福島大学大学院人間発達文化研究科 院生：岩間真弓

携帯：09023603275 Mail: zg3518@gmail.com

青銅器の作り方

青銅器とは…人類の物質文化が発展する中で鑄造された銅の器物である。中国は、五千年前の新石器時代馬家窟文化の頃、すでに赤銅器が発見された。青銅器においては、夏代の中原地域の河南省偃師（えんし）市の二里头（にりとう）遺跡にすでに最先端の青銅器鑄造技術があった。夏の時代に青銅器が鑄造されたと、『春秋左氏傳』宣公三年に「昔夏之方有徳也、遠方囟物、貢金九牧、鑄鼎象物」と記してある。1972年、河南省偃師二里頭の殷代宮殿の跡で、銅で作られた鑿（のみ）、錐（きり）、釣り針、矢じり、戈（ほこ）、戚（まさかり）などが発見された後、すぐに青銅の温酒器の爵（しゃく）などの器物が見つかった。青銅器は中華文明の重要な標識であり礼器、容器、楽器、兵器などが作られ王や部族の首領などが権力を示すものとなる。青銅器の内側に銘文が刻まれ、当時の様子を知ることができる。青銅器に刻まれた銘文の文字を金文という。

【青銅器の作り方】 中国古代の作り方 ——粘土で作った鑄型を組み合わせて作る——



青銅容器鑄造の型の組み合わせ方
モデルは前13～12世紀の酒杯

林巳奈夫『中国古代の生活史』より

- ① 同じ形の原型を粘土で作る。
- ② 紋様のあらましも作っておく。
- ③ 外から柔らかい粘土を押し付ける。
- ④ 分割して外型を外す。
- ⑤ 合わせ目に三角の凹凸を作る。
- ⑥ 紋様の細部は外したまま外形の粘土に彫り込む。
- ⑦ 同図左図の中央の中型の主要部は、始めに作った原型を、容器の厚さだけ削ったものをそれに当てる。
- ⑧ 図はパーツを組み合わせて出来上がったところ。
- ⑨ 鑄型はすべて素焼きしておく。
- ⑩ 溶けた青銅を左寄りの口から注ぐ。



【ワークショップ 文鎮の鑄造の仕方】 錫を使って鑄造します。青銅は錫で作った型を使用し外注します。



① 型を木枠の中に入れる



② 鑄物砂をかぶせる



③ 上の木枠を載せる



④ 湯道棒を差し込む



⑤ 湯道を作った後型を取る



⑥ 鉄瓶で錫を溶かす



⑦ 湯を流す



⑧ 取り出す



⑨ 磨いて完成